

## ◆令和元年9月2日開催庁議◆

### 1. 市長挨拶

- 第3回定例議会が始まる。各所管においては準備等を進めているかと思うが、こういった議論を中心に質問されるか、準備しておくこと。
- 8月末時点の人口が前月より65人増え、69,942人となった。昨年同期を見ると9月から11月にかけても人口増となっているため、このペースでいくと10月または11月には7万人に到達するのではないかと期待を持ちながら見守ることとしたい。達成した際にはセレモニーの開催など担当部署においては準備を進めていただきたい。本市では他のまちにはない人口増加が続いており、政策面での施策の展開や企業誘致等の結果が生んだものと思われる。今後も総合計画、総合戦略に沿った、いいまち、住みよいまちとなるよう事業を推進していきましょう。
- 今年度も折り返しの時期となり各所管においてはスピード感をもって事業を進めていただきたい。

### 2. 議事

#### (1) 令和2年度の予算配分について【総務部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 臨時的経費の予算配分について、政策的事業概算要求において示された内容に基づき、計上すべき臨時的経費を抽出した。過去の臨時的経費の予算実績を臨時的経費、政策的経費、投資的経費、経常的経費に振分け、臨時的経費と判断されたもののみ一般財源配分の対象とした。そのため、臨時的経費と判断されないものについて、政策予算を要求する必要がある経費や経常的経費のうち別途査定経費に該当する経費となる。なお、臨時的経費については細分化し、予算を配分している。
- 一般財源の配分額については中期財政収支見直し及び政策的事業の概算要求を踏まえ、必要に応じてシーリングをかける可能性がある。また、経常経費の一財配分との組替が可能のため各所管においてはマネジメント機能を活かし事業見直しや予算組み替えを行うこと。

#### (2) 第1期恵庭市総合戦略の検証について【企画振興部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、企画振興部次長説明

- 第1期恵庭市総合戦略の数値目標の検証において、純移動数（転入超過数）が昨年度の中間値と比較し、目標値を445人超える結果となった。観光入込客数については昨年度の中間値と比較し、目標値に対し10万人少ない状況で、北海道胆振東部地震や諸外国との外交関係が影響しているものと推測。女性就業率及び若年者就業率は、来年度実施の国勢調査の結果を基に検証を行う予定。合計特殊出生率は、中間値において目標値を0.08下回っているが、基準値より0.04上向いており、子育て支援や移住対策により今年度の目標値の達成を期待している。
- 具体的な施策単位毎の成果と課題は、大項目4つにおける20の具体的な施策に対する検証状況、KPI結果、取り巻く環境の情勢変化と本市の状況及び第2期総合戦略への方向性について、各課への校正を経て、取りまとめた。なお、今後のスケジュールは、本案をもとに理事者と調整を行ったのち、議会や恵庭創生懇談会での意見集約を行いたいと考える。

#### (3) 千歳市と恵庭市の連携施策について【企画振興部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、企画振興部次長説明

- 千歳・恵庭は住民の通勤や通学、経済活動、住民活動などが同一圏域として結びつきが強く、これまでも官民間わず連携や交流が行われてきたことから、相互に有益な協力関係を強化し、連携施策の充実拡大を図ることを目的に、先日、千歳市において両市長の署名により覚書を締結した。覚書の締

結に合わせ、連携施策推進計画書を作成し、18分野26事業にわたる連携施策事業について、年3回程度の実務者会議を開催し、進捗状況について報告を取りまとめることとしている。資料に覚書を添付しているため、確認願いたい。

#### (4) えにわ子育て応援隊講演会の開催について 【子ども未来部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、子ども未来部長説明

○地域全体で子育てを支えあうことを目的に昨年7月に設立した「えにわ子育て応援隊」の今年度の取組として、シンボルマークの作成、ステッカーの作成、応援隊の取組の周知を行うとともに講演会を開催する。講演会の前段には、今年度の子育て応援企業表彰とシンボルマークの発表を予定している。

○周知については、広報えにわ9月号、市ホームページ、フェイスブックへの掲載のほか、応援隊会員への案内、小・中学校等へチラシを配布する。なお、参加の申込については、チラシ下部のQRコードから各自申込願う。庁議終了後、新着情報にも掲載するが、多くの方が参加いただけるよう周知願う。

【開催日時】10月10日（木）午後6時10分～

【開催場所】恵庭市民会館 大ホール（定員850名）

【講師】医学博士 池川 明氏

#### ◆令和元年9月26日開催庁議◆

##### 1. 市長挨拶

○決算審査の個別質問が終了した。これから代表質問等があるので宜しくお願いしたい。

##### 2. 議事

##### (1) 中期財政収支見通しについて【総務部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

○毎年度作成の中期財政収支見通しについて、令和元年度予算をベースに、「市税」、「普通交付税」及び「公債費」など一部を最新の推計値に置換え、国による各種推計値などを用い機械的に試算し作成。

○令和元年度における経常収支差額が4億4,500万円で、政策的事業充当一般財源4億2,700万円を差引いた最終的収支は1,800万円。ただし、当初予算に計上の財政調整基金繰入金1億3,700万円はそのまの見込。

○令和2年度は、消費税の引上げの通年ベース化や、焼却施設の本格稼働、花の拠点の運営経費、会計年度任用職員制度へ移行の要因から、経常収支差額がマイナス2,900万円。政策的事業充当一般財源の額は、現在、企画振興部において取り纏め中の政策的経費の金額を参考に5億2千万円を見込み、最終的収支の金額はマイナス5億4,900万円。

○令和3年度は収支不足が拡大し、経常収支でマイナス3億9,900万円、最終的収支ではマイナス9億1,900万円

○令和4年度は経常収支でマイナス5億3,500万円、最終的収支もマイナス10億5,500万円

○令和5年度は経常収支でマイナス8億4,300万円、最終的収支もマイナス13億6,300万円

○経常収支比率は、平成30年度決算では数値は94.8%、令和元年度以降、全国的に扶助費の割合が高い中、増加が予測されることや、令和2年度から会計年度任用職員制度へ移行することなどから、上昇する見込。

- 地方債現在高は、予算ベースの推計で、令和3年度末には、第5期総合計画の前年度末残高よりも125億9,000千万円、下回る見込。
- 実質公債費比率は3か年平均で、公債費の支出は、ゴミ処理関連施設、花の拠点整備などにより増加する見込みで、令和5年度では7.0%となる見込。
- 財政調整基金の推移は、令和元年度は1億1,900万円を取崩す見込。令和2年度は5億4,900万円、令和3年度は9億1,900万円、令和4年度は2億100万円の財源対策を全て財政調整基金で補填すると基金が底をつき、財政運営の基本指針に掲げる残高目標7億円を下回る。

(市長)

- ・収支見通しが厳しい状況が予想されるが、今まで取組んできた事業を財政が厳しいからということで行うべきものを避けるようなことはしないように。事業を見直しながら、新たな財源をつくることも検討するとともに、課題に対しても、積極的に対応するように。

### 3. その他

#### 【経済部長】

- 恵庭溪谷紅葉バス巡りについて

10月11日から10月14日まで、4つのコースで募集を開始している。予約状況については、580名の定員で556名まで予約を受けている状況。

#### 【子ども未来部長】

- 10月10日に開催する恵庭子育て応援隊の講演会がある。